

[okazaki\_175]

活動タイトル	ワットモニター出前授業
実施日	2025年10月21日(火)
場所	江別市立いずみ野小学校
対象数	小学校5年生35名
内容	
<テーマ・ねらい>	
<p>小学校5年生を対象に、総合の授業として、45分の「ゼロカーボン ワットモニター出前授業」を行いました。この出前授業は、2017年から江別市が、希望する学校に対して行っているものです。地球温暖化やゼロカーボンについて知り、自分たちにできることを考えていくきっかけ作りとなることを、授業の目標としました。2クラス合同で、授業を実施しました。</p>	
<実施内容>	
<p>導入：「将来、チョコレートが食べられなくなるかもしれない、って聞いたことがありますか？」という問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年から2024年までの異常気象を示した世界地図のスライドショー投影</li> <li>・地球温暖化の仕組みや二酸化炭素などについて質問し、児童が回答。</li> <li>・上記の補足説明し、ゼロカーボンにも触れる</li> <li>・発電の説明</li> <li>・身近な家電の電力測定（1）</li> </ul>	
<p>白熱電球、電球型蛍光ランプ、LED電球の測定は、児童3人に、スイッチを入れたり、ワットモニターの表示を読んだり、電球の熱さを体感してもらったりして、それを他の児童に伝えてもらいました。この3種類の電力の違いから、時代が進むにつれて照明の省エネが進んでいることを実感する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な家電の電力測定（2）</li> </ul> <p>ドライヤー、掃除機、テレビの電力測定は、事前に、電力の多い順を予想      →ワットモニターを書画カメラで画面に映して、順位を確認。画面の明るさや強弱の違いによる電力の違いや、使用時間による電力量を示すことで、使い方や使用時間によって、電力量が変わってくることに気づく。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合い</li> </ul> <p>自分ができること、学校でできること、江別市でできることについて、それぞれのアイデアを付箋に書き、模造紙に貼りながら、共有。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り</li> </ul> <p>「へえ！と思ったこと、疑問に思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」をワークシートに記載</p>	
<配付資料>	
ワークシート、E・E・Eこどもドリル (NPO法人北海道グリーンファンド作成)、	
<感想・課題>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別市でできることとして、「発電方法を変える」「太陽光パネルをいっぱいいっつける」などの提案が出ていました。</li> </ul>	

- ・いづみ野小の1年間の電気使用量を伝えたところ、ふりかえりに、「自分の家では、どのくらい使っているか気になった」という感想がありました。また、「電気のない時代の夜は、どうしていたのだろう?」という疑問を持った児童もいました。
- ・先生からは、「予想させたり、いづみ野小の電力量を知ったりできたのが良かったです。これから総合学習で考える視点になったようです。」というコメントをいただきました。
- ・話し合いの時間では、先生たちも、グループをまわって、助言したり、ユニークな意見を教えてくださったりして、助かりました。
- ・ワークシートのふりかえり部分からは、伝わったことや、伝えたりなかつたことなどが見えて來たので、今後の授業に活かしていきたいと思いました。